

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年11月6日

上場会社名 大崎電気工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6644 URL https://www.osaki.co.jp
 代表者(役職名) 取締役会長 (氏名) 渡辺 佳英
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役経営戦略本部長 (氏名) 上野 隆一 (TEL) 03-3443-7171
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	43,580	22.2	2,033	32.4	1,946	16.7	845	31.0
2019年3月期第2四半期	35,669	△2.4	1,536	△30.2	1,667	△26.3	645	△21.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 810百万円(△36.1%) 2019年3月期第2四半期 1,266百万円(△6.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	17.28	17.01
2019年3月期第2四半期	13.20	13.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	101,540	58,801	46.8
2019年3月期	98,314	58,881	48.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 47,549百万円 2019年3月期 47,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	92,000	12.1	4,300	0.0	3,900	△9.2	1,600	△11.4	32.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	49,267,180株	2019年3月期	49,267,180株
2020年3月期2Q	346,095株	2019年3月期	346,095株
2020年3月期2Q	48,921,085株	2019年3月期2Q	48,863,512株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページの「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資等の内需に支えられて緩やかな回復が続いているものの、米中貿易摩擦の長期化への懸念などから、先行きに対する慎重な見方が広がっています。

このような状況の中、当社グループは2020-2024年3月期の中期経営計画を策定し、重点戦略である「利益を重視したグローバル成長」、「スマートメーターの付加価値創出」、「新たなコアとなる製品・事業の創出」、「グループ経営基盤の強化」に取り組んでいます。

当第2四半期については、国内においては、2024年度までに全国でスマートメーター導入が完了する計画が進行している中、当社グループの主力製品であるスマートメーターへの取り替え需要がピークを過ぎたことに加え、価格低下の影響もあり、減収となりました。

一方、海外においては、オーストラリアで人口が集中する東部の州はスマートメーターの設置が義務化されており、当社グループの売上が順調に増加しました。加えて、英国では通信ハブ等の出荷が増加し、前年度下期よりスタートした中東のスマートメーター案件も大きく寄与したことなどから、大幅な増収となりました。

これらの結果、売上高は前年同期比22.2%増の43,580百万円となりました。

利益面については、海外での増収と販管費率低下等により増益となったことから、営業利益は前年同期比32.4%増の2,033百万円となりました。経常利益は前年同期比16.7%増の1,946百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比31.0%増の845百万円となりました。

<連結業績>

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	35,669	43,580	7,911	+22.2%
計測制御機器事業	34,431	42,745	8,314	+24.1%
その他	1,308	932	△375	△28.7%
調整額	△70	△98	△28	—
営業利益	1,536	2,033	496	+32.4%
計測制御機器事業	1,344	1,895	551	+41.0%
その他	188	135	△53	△28.4%
調整額	2	2	△0	△28.6%
経常利益	1,667	1,946	278	+16.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	645	845	200	+31.0%

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が914百万円減少しましたが、たな卸資産が2,829百万円、有形固定資産のその他(純額)が1,266百万円増加したこと等により、前年度末と比較して3,226百万円増加し、101,540百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金・電子記録債務が2,352百万円、未払法人税等が226百万円、賞与引当金が106百万円減少しましたが、長・短借入金が5,001百万円、固定負債のその他が1,020百万円増加したこと等により、前年度末と比較して3,306百万円増加し、42,739百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が286百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が224百万円、為替換算調整勘定が175百万円減少したこと等により、前年度末と比較して80百万円減少し、58,801百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、下期は国内において引き続き厳しい市場環境が想定されることから、2019年5月14日に公表した計画から、変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,892	14,529
預け金	2,601	1,912
受取手形及び売掛金	19,836	18,922
商品及び製品	6,484	7,798
仕掛品	3,766	3,538
原材料及び貯蔵品	9,436	11,179
その他	2,510	2,282
貸倒引当金	△605	△479
流動資産合計	57,923	59,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,566	9,371
土地	12,503	12,503
その他（純額）	6,053	7,320
有形固定資産合計	28,124	29,195
無形固定資産		
のれん	615	498
その他	1,115	1,012
無形固定資産合計	1,730	1,510
投資その他の資産		
投資有価証券	5,735	5,422
退職給付に係る資産	1,054	1,042
その他	3,748	4,687
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	10,535	11,149
固定資産合計	40,391	41,856
資産合計	98,314	101,540

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,468	8,525
電子記録債務	4,038	3,629
短期借入金	10,703	9,249
未払法人税等	841	615
賞与引当金	1,733	1,627
役員賞与引当金	0	—
製品保証引当金	46	46
その他	5,426	5,476
流動負債合計	33,260	29,169
固定負債		
長期借入金	36	6,492
役員退職慰労引当金	108	31
退職給付に係る負債	2,254	2,275
繰延税金負債	2,265	2,241
その他	1,508	2,528
固定負債合計	6,172	13,569
負債合計	39,432	42,739
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,965	7,965
資本剰余金	8,750	8,750
利益剰余金	27,669	27,955
自己株式	△223	△223
株主資本合計	44,162	44,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,412	1,188
為替換算調整勘定	1,763	1,588
退職給付に係る調整累計額	356	322
その他の包括利益累計額合計	3,532	3,099
新株予約権	474	544
非支配株主持分	10,710	10,707
純資産合計	58,881	58,801
負債純資産合計	98,314	101,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	35,669	43,580
売上原価	26,227	33,632
売上総利益	9,441	9,947
販売費及び一般管理費	7,905	7,914
営業利益	1,536	2,033
営業外収益		
受取利息	12	12
受取配当金	98	103
その他	91	82
営業外収益合計	202	197
営業外費用		
支払利息	34	264
その他	36	20
営業外費用合計	70	284
経常利益	1,667	1,946
特別利益		
子会社清算益	68	—
特別利益合計	68	—
特別損失		
災害による損失	52	—
特別損失合計	52	—
税金等調整前四半期純利益	1,683	1,946
法人税、住民税及び事業税	610	627
法人税等調整額	80	75
法人税等合計	691	703
四半期純利益	992	1,243
非支配株主に帰属する四半期純利益	347	397
親会社株主に帰属する四半期純利益	645	845

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	992	1,243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	152	△224
為替換算調整勘定	137	△175
退職給付に係る調整額	△15	△33
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	274	△433
四半期包括利益	1,266	810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	919	412
非支配株主に係る四半期包括利益	347	397

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他(純額)」が1,206百万円増加し、流動負債の「その他」が191百万円、固定負債の「その他」が1,094百万円増加しております。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は69百万円減少しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測制御 機器事業				
売上高					
外部顧客への売上高	34,417	1,251	35,669	—	35,669
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	56	70	△70	—
計	34,431	1,308	35,739	△70	35,669
セグメント利益(営業利益)	1,344	188	1,533	2	1,536

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、FPD関連装置事業、不動産事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、固定資産の調整額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測制御 機器事業				
売上高					
外部顧客への売上高	42,733	846	43,580	—	43,580
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	86	98	△98	—
計	42,745	932	43,678	△98	43,580
セグメント利益(営業利益)	1,895	135	2,030	2	2,033

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、FPD関連装置事業、不動産事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、固定資産の調整額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。